

令和5年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立南葛西第二中学校

教科	音楽	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
心を伝えあう歌い方を求めて、無理のない自然な声の出し方で歌おう。 「生命が羽ばたくとき」	3	新しい仲間と歌う喜びを分かち合い、音楽学習に主体的に取り組む態度を育てる。	○声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。 ○音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を身に付けている。	○歌唱表現に関わる知識(声の音色や響き、音域と声の出し方との関わり)や技能(音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
オーケストラやパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう 「小フーガト短調」 「交響曲第5番ハ短調作品67」	3	フーガやソナタ形式を理解し、音楽表現の固有性について理解してよさや美しさを聴く。	○曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わりについて理解している。	○鑑賞に関わる知識(曲想と動機の現れ方、ソナタ形式や関わり)を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	○鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
平調子の特徴を生かして音楽をつくろう	4	旋律のつながり方を工夫してまとまりのある音楽をつくる。	○平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴を理解している。 課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能を身に付けている。	○創作表現に関わる知識(平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴)や技能(課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。	○創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
曲想を味わいながら合わせて歌おう 「My Own Road」 「大切なもの」	4	曲想を味わって表現を工夫しながら合わせて歌う。	○曲想と楽曲の構造と関わりについて理解している。他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。	○歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

令和5年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立南葛西第二中学校

<p>合唱の喜び クラス合唱</p>	<p>4</p>	<p>曲想を味わって表現を工夫しながら合わせて歌う。</p>	<p>○曲想と楽曲の構造と関わりについて理解している。他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。</p>	<p>○歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
<p>歌詞の内容を味わい、形式を生かして表現を工夫しよう。 「浜辺の歌」 「早春賦」</p>	<p>2</p>	<p>歌詞の内容を理解している。曲の形式を生かして歌っている。</p>	<p>○曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 ○音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などの技能を身に付けている。</p>	<p>○歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音等)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
<p>箏の音色と奏法との関わりを理解したり、基本的な奏法を身に付けたりしながら表現しよう。 「いつも何度でも」</p>	<p>7</p>	<p>様々な奏法を身に付け、曲想と弾き方による音色の変化を理解し、演奏すること。</p>	<p>○曲想と音楽の構造との関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や様々な奏法の技能を身に付けている。</p>	<p>○器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(右手の使い方や様々な奏法など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。</p>	<p>○器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
<p>他の声部を聴きながら、声部の役割を生かして合わせて歌おう。 「あなたに会えて…」 「変わらないもの」</p>	<p>4</p>	<p>曲想を味わって表現を工夫しながら合わせて歌う。</p>	<p>○曲想と楽曲の構造と関わりについて理解している。他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。</p>	<p>○歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
<p>楽器の豊かな表現を聴き取ろう。 「青少年のための管弦楽入門」 「日本と世界をつなぐ音」</p>	<p>4</p>	<p>楽器の音色や音の出る仕組みを理解しながら聴く。</p>	<p>○曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ○楽器の流通の歴史を知る。</p>	<p>○鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ○音楽の多様性を考える。</p>	<p>○鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>

令和5年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立南葛西第二中学校